

# 奈良時代の寅さん

奈良市の奈良国立博物館で

開催中の第63回正倉院展に出展された奈良時代の戸籍が関心を集めている。台帳に、映画「男はつらいよ」の主人公とその妹と同じ「とら」と「さくら」の人名があり、2人の住んだ場所が今の東京都葛飾区柴又周辺と、舞台も一致。来場者らは偶然に驚きながら「天平の寅さん」に思いをはせている。

「正倉院古文書正集」第

二十一巻」に収録された721年作成の「下総国葛飾郡大島郷」の戸籍。その中に姓は「孔王部」、名は「刀良」という男性と、別の世帯に同姓の「佐久良賣」という女性の名がある。2人は兄妹ではないが、近くで暮らしていたとみられる。年は「刀良」が33

柴又の戸籍に「とら」「さくら」

歳で、「佐久良賣」の二つ上という。

「大島郷」は、現在の葛飾区柴又や同区奥戸、江戸川区の一部を含む地域にあたり、2人の名は以前から、研究者の間では評判になっていたという。



①「刀良（とら）」の名前（点線部）が見える下総国の戸籍  
②点線部が「佐久良賣（さくらめ）」（奈良国立博物館蔵）